



AD-5518

AD-5518T

**デジタルマルチメータ
取扱説明書 保証書付**

ご注意

- (1) この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断転載は禁止されています。
- (2) この取扱説明書の記載事項および製品の仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目 次

はじめに	1
構 成	1
安全にお使いいただくために	1
取り扱い上の注意	3
特 徴	3
WinDMM	3
各部の名称	4
測定方法	
電圧測定	7
電流測定 (0～400mA)	8
電流測定 (0～10A)	9
抵抗測定	10
導通チェック	10
ダイオードチェック	11
コンデンサ測定	12
周波数測定	12
デューティサイクル測定	13
温度測定 (AD-5518Tのみ適応)	13
データホールド	13
比較測定	14
レンジ切替	14
バックライト (AD-5518Tのみ適応)	14
メンテナンス	
電池の交換	15
ヒューズの交換	16
仕 様	17
保証規定	21
保証書	22

はじめに

このたびはAD-5518/AD-5518Tデジタルマルチメータをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読み頂いた後も大切に保管してください。



構成

本製品は、デジタルマルチメータ本体とテストリード、通信ケーブル、専用ソフトウェアWinDMM (CD-ROM)、テストクリップ (AD-5518Tのみ)、熱電対温度センサ (AD-5518Tのみ) により構成されています。

安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味

 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

本器を操作するときは、下記の点に注意してください。

 **注意**

・ **修理**

ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷および機能を消失する恐れがあります。

・ **機器の異常**

機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障中」であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所へ移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

本器を使用するに当たり、使用者の安全を確保するために以下の注意事項を守ってください。

- ・ 「本器やテストリードに破損のある場合」や「本器が正常動作していない場合」には本器を使用しないでください。
- ・ 測定時に測定者は、大地アースに触れないでください。露出した金属パイプ、コンセント、治工具等大地にアースされているものに触れないよう気を付けてください。また使用者の体は乾燥した布、ゴムシート、ゴム靴などの確実な絶縁物を使用し、大地から絶縁してください。
- ・ 測定回路の切断・接続・変更などは、回路の電源を切ってから行ってください。小電流でも危険です。
- ・ DC60VまたはAC30V以上の電圧に対しては十分注意してください。感電の恐れがあります。
- ・ テストリードの使用に際しては、テストリードのプラスチック部分を持ってください。
- ・ マルチメータの最大定格以上での測定は、メータを破損するばかりでなく、測定者に対しても感電などの恐れがあります。常にパネルに表示してある最大定格を認識してください。

取り扱い上の注意

- ・ 強い衝撃や振動、電氣的ショックを与えないでください。故障の原因になります。
- ・ 急激な温度変化のある所、高温、多湿やホコリの多い所、また直射日光が当たる所での使用は避けてください。
- ・ 防水型ではありませんので、水中や直接水がかかる様な場所での使用は避けてください。

特 徴

本器は以下のような特徴を持っています。

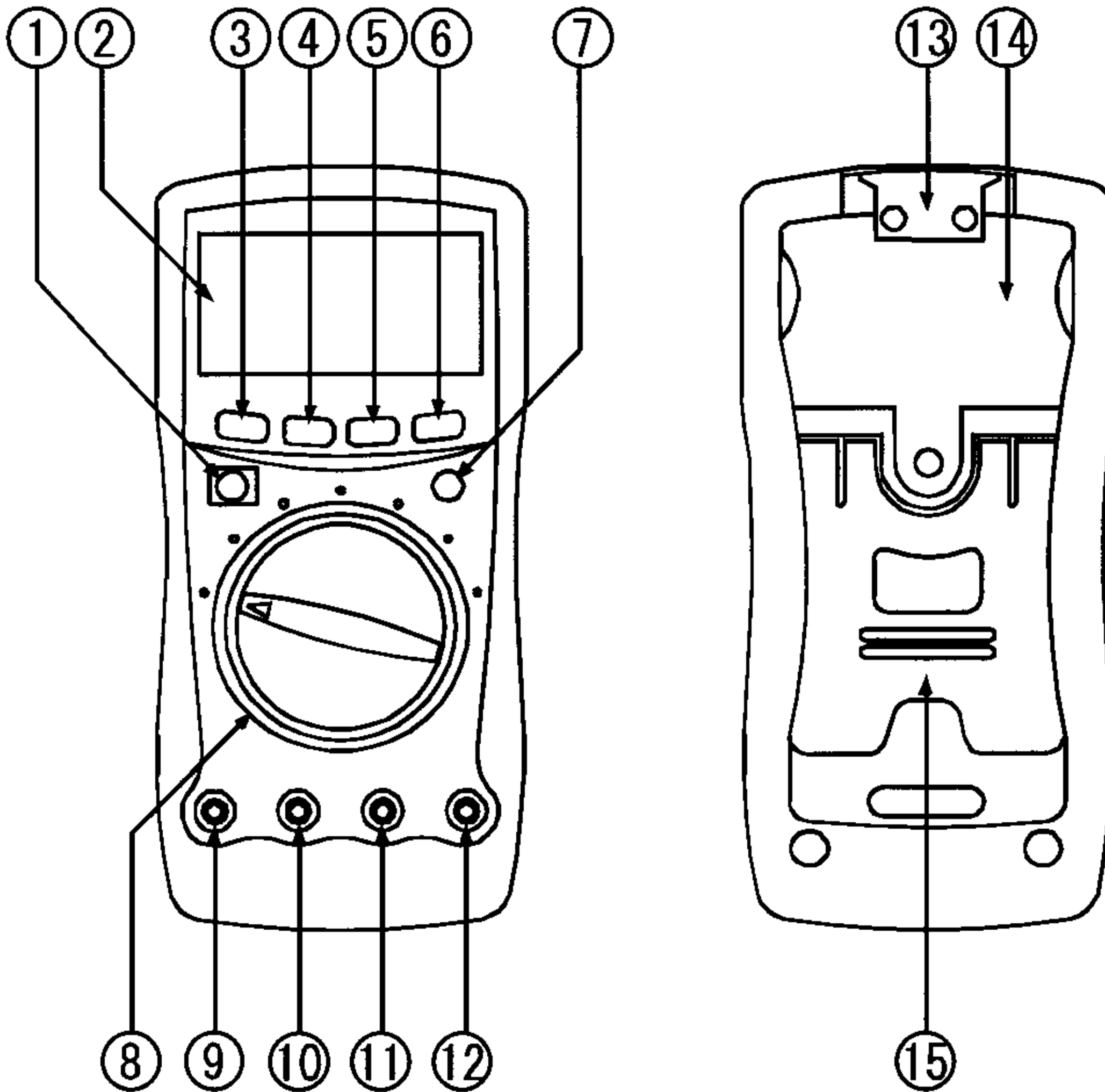
- ・ 通信機能搭載、パソコンでデータ管理が可能。
- ・ 見やすい4000カウント大型液晶表示。
- ・ 比較測定ができる、ワンタッチゼロ調整機能付き。
- ・ 暗がりでも見やすいバックライト機能。(AD-5518Tのみ)

WinDMM

WinDMMは、パソコンとの通信機能を行う専用ソフトウェアです。専用ソフトウェアWinDMMの使用方法については、付属CR-ROMの中の「Setup.pdf」および「Readme.pdf」を参照してください。（「Setup.pdf」および「Readme.pdf」を参照するには、Adobe Acrobat Readerをインストールする必要があります。Adobe Acrobat Readerは、アドビシステム社の米国および/または各国での商標または登録商標です。）

各部の名称

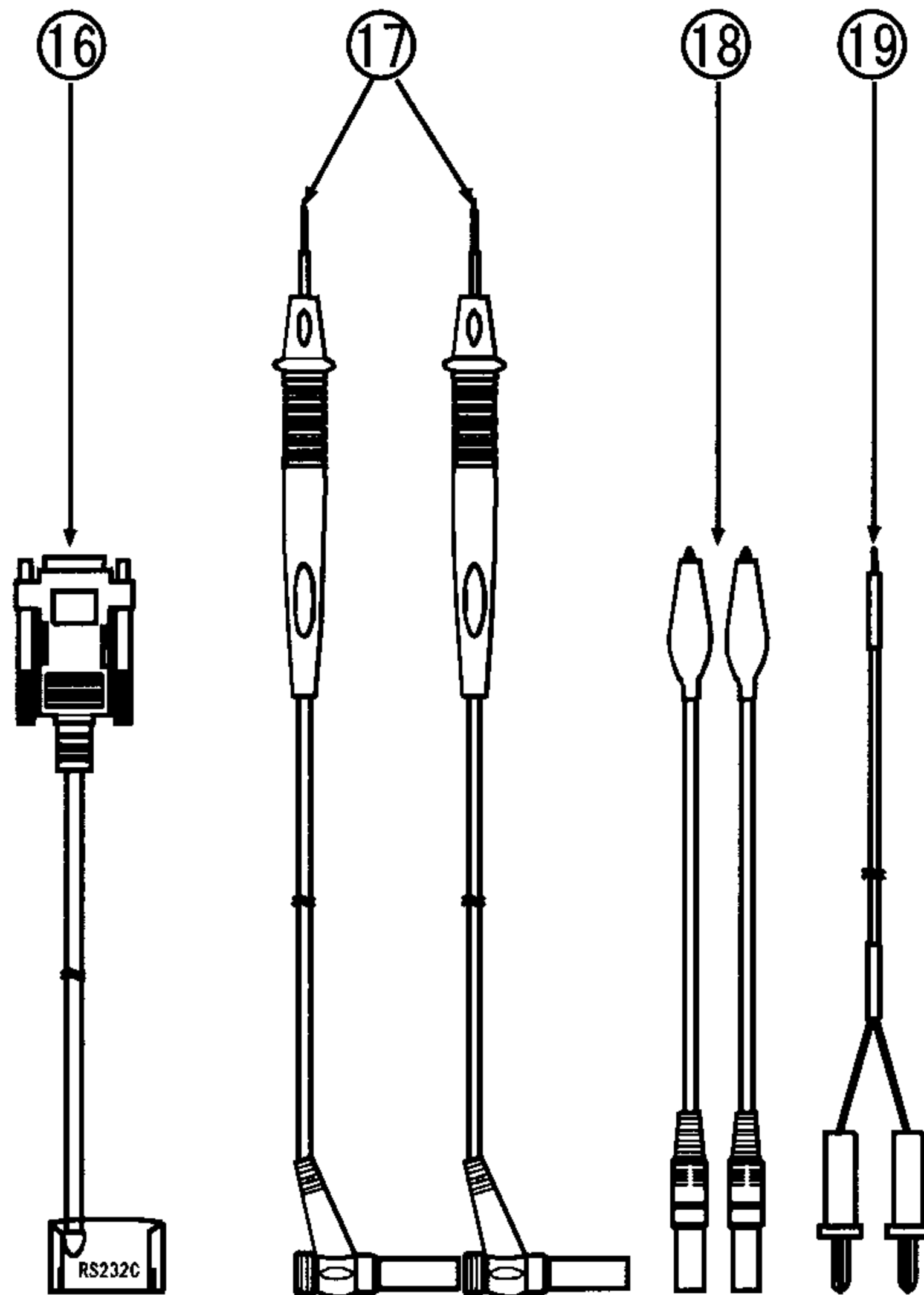
AD-5518/AD-5518T 本体



- ① 電源スイッチ (POWER)
- ② 大型LCD表示部
- ③ レンジ切替スイッチ (RANGE)
- ④ 周波数・デューティサイクル切替スイッチ (Hz %)
- ⑤ ワンタッチゼロ調整スイッチ (REL Δ)
- ⑥ データホールドスイッチ (HOLD)・バックライトスイッチ (AD-5518Tのみ)

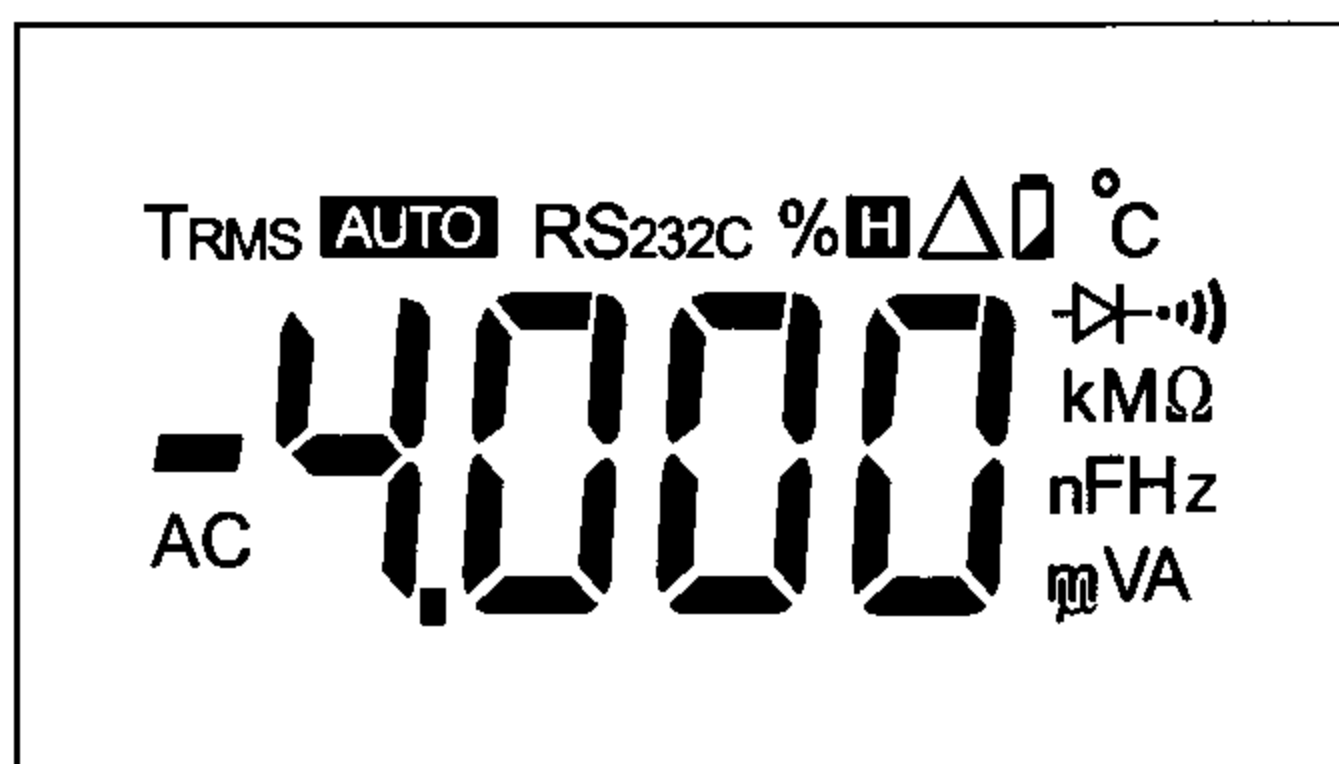
- ⑦ モード切替スイッチ
- ⑧ ファンクションスイッチ
- ⑨ 10A MAX 端子
- ⑩ $\mu\text{A}\cdot\text{mA}$ 端子 (AD-5518)
 $\mu\text{A}\cdot\text{mA}\cdot^\circ\text{C}$ 端子 (AD-5518T)
- ⑪ COM 端子
- ⑫ Hz \cdot V \cdot Ω 端子
- ⑬ 絶縁型光通信コネクタ
- ⑭ 電池ボックス
- ⑮ スタンド

AD-5518/AD-5518T 付属品



- ①⑥ 通信ケーブル
- ①⑦ テストリード
- ①⑧ テストクリップ (AD-5518Tのみ)
- ①⑨ 熱電対温度センサ (AD-5518Tのみ)

表示部



表示マーク	説明
TRMS	真の実効値測定モード (AD-5518Tのみ)
AUTO	オートレンジモード
RS232C	通信モード
%	デューティサイクル測定レンジ
H	ホールドモード
Δ	ワンタッチゼロ、比較測定モード
🔋	電池交換表示
°C	温度測定レンジ (AD-5518Tのみ)
⚡	ダイオードチェックレンジ
📶	導通チェックレンジ
Ω	抵抗測定レンジ
F	コンデンサ測定レンジ
Hz	周波数測定レンジ
V	電圧測定レンジ
A	電流測定レンジ
AC	AC (交流) 測定モード
OL	過大入力表示 (測定レンジに対して入力が大きいです)

測定方法

電圧測定

1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「V」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
4. モード切替スイッチ (青ボタン) で、測定したい機能 (ACまたはDC) に合わせます。ACが選択された場合は表示部左下にACと表示され、DCの場合は何も表示されません。
5. 測定したい回路にテストリードを接続し、回路の電源を入れると、表示部に電圧測定値が表示されます。電圧測定中に、周波数・デューティサイクル切替スイッチ (Hz%) を押し、測定している電圧の周波数またはデューティサイクル測定ができます。(電圧レンジ周波数測定範囲：10Hz～1kHz)

電流測定 (0～400mA)

1. 赤のテストリードを「 μmA 」(AD-5518Tは「 $\mu\text{mA}^\circ\text{C}$ 」)端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「 μA 」または「mA」の適当なレンジに合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
4. モード切替スイッチ (青ボタン) で、測定したいモード (ACまたはDC) に合わせます。ACが選択された場合は表示部左下にACと表示され、DCの場合は何も表示されません。
5. 測定したい回路にテストリードを接続し、回路の電源を入れると、表示部に電流測定値が表示されます。電流測定中に、周波数・デューティサイクル切替スイッチ (Hz%) を押し、測定している電流の周波数またはデューティサイクル測定ができます。(電流レンジ周波数測定範囲：10Hz～1kHz)



注意

測定する電流値が端子の設定している範囲を超えると、本体に内蔵されているヒューズが切断されます。また、250Vを超える電圧がかかる部位での電流測定は、故障または感電の恐れがあるので、おやめください。



警告

電流測定した後は、本体よりテストリードを外しておいてください。電流測定端子にテストリードを接続したまま電圧測定等を行うと、テスタ内部で短絡状態となり、故障や思わぬ事故が発生する恐れがあります。

電流測定（0～10A）

1. 赤のテストリードを「10A MAX」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「A」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ（POWER）を押し、電源を入れます。
4. モード切替スイッチ（青ボタン）で、測定したい機能（ACまたはDC）に合わせます。ACが選択された場合は表示部左下にACと表示され、DCの場合は何も表示されません。
5. 測定したい回路にテストリードを接続し、回路の電源を入れると、表示部に電流測定値が表示されます。電流測定中に、周波数・デューティサイクル切替スイッチ（Hz%）を押すと、測定している電流の周波数またはデューティサイクル測定ができます。（電流レンジ周波数測定範囲：10Hz～1kHz）

- ・故障を防ぐため、測定時間は10秒以内に、測定間隔は15分以上おいてください。



- ・測定する電流値が端子の設定している範囲を超えると、本体に内蔵されているヒューズが切断されます。また、250Vを超える電圧がかかる部位での電流測定は、故障または感電の恐れがあるので、おやめください。



電流測定した後は、本体よりテストリードを外しておいてください。電流測定端子にテストリードを接続したまま電圧測定等を行うと、テスタ内部で短絡状態となり、故障や思わぬ事故が発生する恐れがあります。

抵抗測定



注意

抵抗測定の前に回路の電源を切ってください、故障や感電の恐れがあります。


1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「Ω」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
(表示部右側に M Ω 表示)
4. 測定したい回路にテストリードを接続すると、表示部に抵抗値が表示されます。

導通チェック




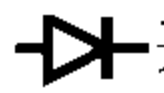
注意

導通チェックの前に回路の電源を切ってください。故障や感電の恐れがあります。


1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「Ω」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
4. モード切替スイッチ (青ボタン) で、導通チェックを選択します。(表示部右側に  表示)
5. 導通チェックしたい部分にテストリードを接続します。その部分が約 70 Ω 以下の場合、「ピー」というアラーム音が鳴ります。


ダイオードチェック

 **注意** ダイオードチェックの前に回路の電源を切ってください。故障や感電の恐れがあります。

1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「Ω」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
4. モード切替スイッチ (青ボタン) で、ダイオードチェックを選択します。(表示部右側に  表示)
5. 赤のテストリードをチェックしたいダイオードのアノード (A)、黒のテストリードをカソード (K) に接続すると、表示部に順方向電圧 (Vf) が表示されます。
6. 5の接続方法とは逆に、赤のテストリードをカソード (K)、黒のテストリードをアノード (A) に接続すると、表示部に「OL」が表示されたまま変化しません。
7. もし、上記5・6のような結果が得られない場合、そのダイオードは破損している可能性があります。(一般的なシリコンダイオードの順方向電圧は0.5~0.8V、ゲルマニウムダイオード、ショットキバリヤダイオード、低飽和電圧トランジスタ等は0.1~0.3V位です。)

コンデンサ測定

 **注意** コンデンサ測定の前に被測定回路の電源を切り、残留電荷を十分に放電してください。故障や感電の恐れがあります。

1. 赤のテストクリップを「HzVΩ」端子に、黒のテストクリップを「COM」端子へ接続してください。
2. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
3. AD-5518 Tの場合は、ファンクションスイッチを「Ω」の位置に合わせ、モード切替スイッチ (青ボタン) で、コンデンサ測定を選択します。AD-5518の場合は、ファンクションスイッチを「」の位置に合わせます。(表示部右側に nF 表示)
4. 測定したいコンデンサの+端子に赤のテストクリップ、-端子に黒のテストクリップを接続すると、表示部にコンデンサの容量が表示されます。測定するコンデンサの容量が40nF (0.04μF) 以下の場合、ワンタッチゼロ調整スイッチ (REL Δ) を押し、浮遊容量による誤差をキャンセルしてから測定してください。また、大きな容量のコンデンサは測定に時間がかかります。(100μF レンジで約 15 秒)

周波数測定

1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「Hz」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。(表示部右側に Hz 表示)
4. 測定したい回路にテストリードを接続すると、表示部に周波数が表示されます。

周波数レンジの最大測定電圧は30Vです。これを超えた電圧または電流での周波数測定をする場合は、電圧または電流レンジの周波数測定モードを使用します。電圧または電流レンジの周波数測定範囲は10Hz～1kHzです。

デューティサイクル測定

1. 赤のテストリードを「HzVΩ」端子に、黒のテストリードを「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「Hz」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。(表示部右側に Hz 表示)
4. モード切替スイッチ (青ボタン) で、デューティサイクルを選択します。(表示部上側に % 表示)
5. 測定したい回路にテストリードを接続すると、表示部にデューティサイクルが表示されます。(デューティサイクルの測定も周波数測定と同様に、30V を超える電圧または電流での測定は、電圧または電流レンジのデューティサイクル測定モードを使用します。)

温度測定 (AD-5518T のみ適応)

1. 熱電対温度センサの赤プラグを「 $\mu\text{AmA}^\circ\text{C}$ 」端子に、黒プラグ「COM」端子へ接続してください。
2. ファンクションスイッチを「 $^\circ\text{C}$ 」の位置に合わせます。
3. 電源スイッチ (POWER) を押し、電源を入れます。
4. 温度測定したい部位に、付属の熱電対温度センサの先端部分を熱結合させると、表示部に測定温度が表示されます。(本器に付属している熱電対温度センサは、気体・表面貼付・内部温度測定用です。正確な温度測定をする場合、表面貼付・内部温度測定については、測定方法に注意が必要です。)

データホールド

データホールドスイッチ (HOLD) を押すことにより、測定中の表示値をホールドすることができます。再度データホールドスイッチ (HOLD) を押すとホールドは解除され、現在の測定値が表示されます。

比較測定

比較測定は、ある測定値を基準に、そこからの変化分を直読できるようにする測定モードです。各種測定中にワンタッチゼロ調整スイッチ (REL Δ) を押すと、それまで表示されていた表示値がゼロクリアされ、ワンタッチゼロ調整スイッチ (REL Δ) が押されたときの測定値を基準に測定された増減分をリアルタイムに表示します。また、微少な信号の測定時にこのスイッチを押すと、測定系にあらかじめ含まれている誤差分がキャンセルされ、データを読み取りやすくします。

(抵抗測定、周波数測定およびデューティサイクル測定は比較測定が設定できません。)

レンジ切替

本器は電源投入時にオートレンジになってます。レンジ切替スイッチ (RANGE) を押すと手動レンジ切替が可能になり、大きな変化を伴う測定などで表示値が読み取りやすくなります。再びオートレンジに戻すには、レンジ切替スイッチ (RANGE) を約2秒以上押し続けてください。

バックライト (AD-5518Tのみ適応)

データホールドスイッチ (HOLD) を約2秒間押しつづけることにより、バックライトが点灯します。再度データホールドスイッチ (HOLD) を約2秒間押しつづけると、バックライトは消灯します。また、本体の電源スイッチ (POWER) を押して電源を切っても、バックライトは消灯します。


メンテナンス

電池の交換



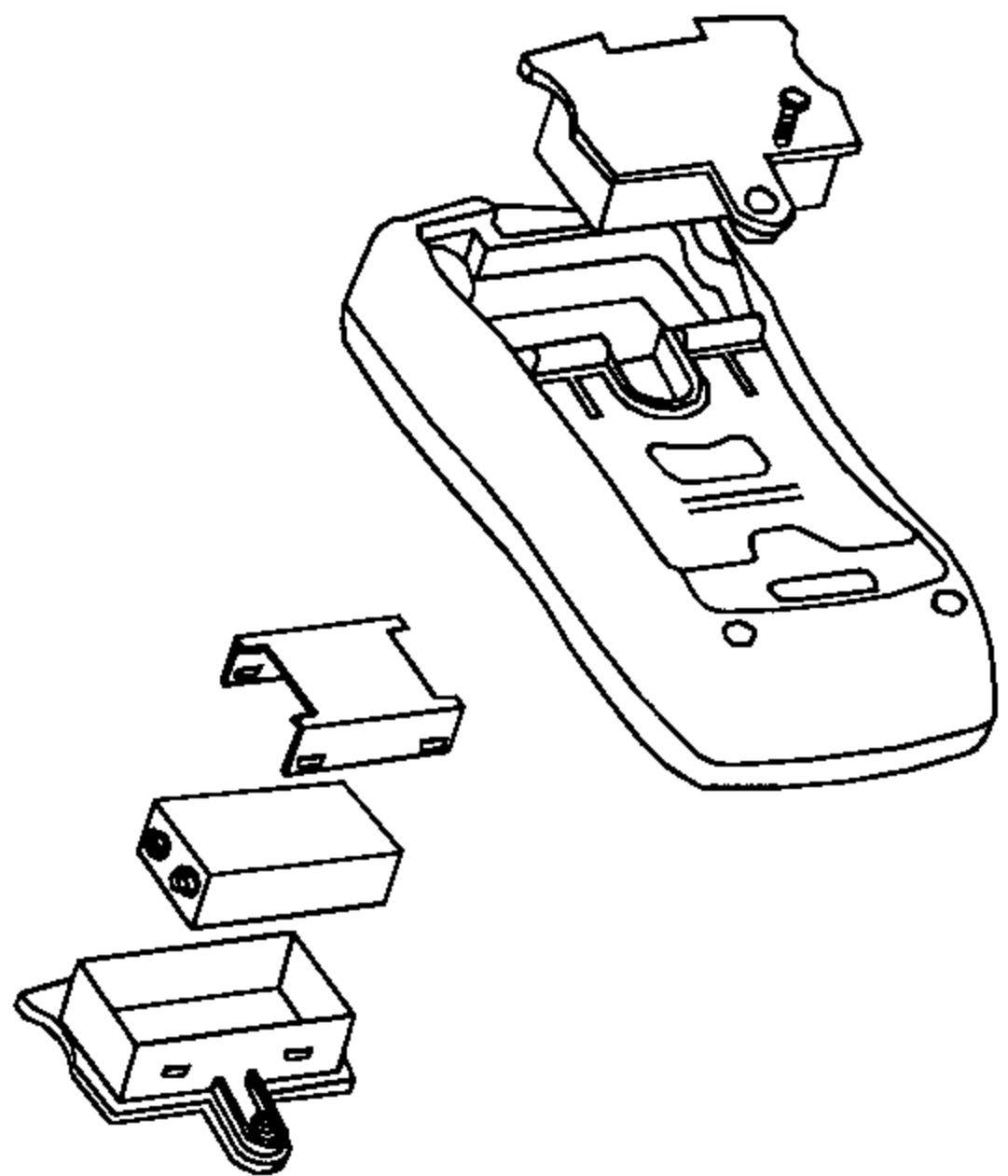
注意

- ・感電の恐れがあるため、電池交換の前にテストリード等を外してください。
- ・ご購入時、電池ボックスには電池が入っていない状態になっています。ご使用前に電池を本体にセットしてください。
- ・付属の電池はモニタ用なので電池寿命が短い場合があります。

本器は、9V、006V角形電池（6F22）を1個使用しています。表示が出ない、または薄くなったり、表示部の右上に  の表示が出た場合には下記の方法で電池を交換してください。

電池交換手順

1. 本体よりテストリード等を外し、電源を切ってください。
2. 本体裏の電池ボックスを止めているネジを+ドライバーで外し、電池ボックスを取り外します。
3. 古い電池を取り出します。
4. 新しい電池を電池ボックスの極性表示に合わせて正しく入れます。
5. 電池ボックスを元に戻し、ネジを締めます。



※ 乾電池の+-を逆に入れますと正常に動作しないばかりか、故障の原因となります。

電池使用上のお願い



- ・電池は必ず指定のものを使用してください。
- ・破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- ・環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いいたします。

ヒューズの交換



感電の恐れがあるため、ヒューズを交換する前にテストリード等を外し、電源を切ってください。ヒューズは同じ物または同等品と交換してください。10A端子を保護しているのは、10A/250V(φ5×20mm)の速断ヒューズです。μA、mA端子を保護しているのは、0.5A/250V(φ5×20mm)の速断ヒューズです。

ヒューズ交換手順

1. 本体よりテストリード等を外し、電源を切ってください。
2. 本体裏のゴム足2個を外し、その中にあるネジ2本と電池ボックスを止めているネジの計3本を+ドライバーで外します。電池ボックスを取り外してから裏カバーを注意深く外します。
3. 切れたヒューズを取り外し、新しいヒューズを取り付けます。
4. 裏カバーと電池ボックスを元に戻し、ネジを締めます。

仕 様

表示	: 4桁 4000カウント液晶表示
測定方式	: AD-5518 平均値整流 : AD-5518T True RMS (真の実効値)
最大入力電圧	: DCV 1000V DC/ACpeak ACV 750Vrms
最大入力電流	: 400mA (μ A・mAレンジ) 10A (10Aレンジ)
入力インピーダンス	: 10M Ω 以上 (電圧レンジ)
サンプリングレート	: 3回/秒
ヒューズ	: 0.5A、250V、ガラス速断ヒューズ、 ϕ 5×20mm 10A、250V、ガラス速断ヒューズ、 ϕ 5×20mm
使用温湿度範囲	: 0℃～40℃ (結露しないこと) 75%RH以下 (0℃～30℃) 50%RH以下 (31℃～40℃)
保存温湿度範囲	: 0℃～50℃ (結露しないこと)
電源	: 9V、006P角形電池 (6F22) × 1個
電池寿命	: 約200時間 (バックライト未使用時)
寸法	: 85mm (W) × 175mm (H) × 45mm (D)
重量	: 約310g (電池含む)
付属品	: テストリード テストクリップ (AD-5518Tのみ) 通信ケーブル 熱電対温度センサ (AD-5518Tのみ) 専用ソフトウェアWinDMM (CD-ROM) 電池 (モニタ用) 取扱説明書

確度 (23°C ± 5°C 75%RH 以下)

DCV

レンジ	分解能	確 度	入力インピーダンス
400mV	0.1mV	± (0.8%rdg+3dgts)	10M Ω以上
4V	1mV	± (0.8%rdg+1dgt)	
40V	10mV		
400V	100mV		
1000V	1V	± (1.0%rdg+3dgts)	

最大入力許容電圧：1000VDC/750VAC

ACV

レンジ	分解能	確 度	入力インピーダンス
4V	1mV	± (1.0%rdg+5dgts) ※	10M Ω以上
40V	10mV		
400V	100mV		
750V	1V	± (1.2%rdg+5dgts) ※	

最大入力許容電圧：1000VDC/750VAC

※正弦波測定値、測定周波数範囲：40Hz ~ 400Hz

DCA

レンジ	分解能	確 度	過入力保護
400μA	0.1μA	± (1.0%rdg+2dgts)	0.5A、250 V、 ガラス速断ヒューズ、 φ 5 × 20mm
4000μA	1μA		
40mA	0.01mA	± (1.2%rdg+3dgts)	
400mA	0.1mA		
4A	0.001A	± (1.5%rdg+5dgts)	10A、250V、ガラス速断 ヒューズ、φ 5 × 20mm
10A	0.01A		

ACA

レンジ	分解能	確 度	過入力保護
400 μ A	0.1 μ A	$\pm(1.5\%rdg+5dgts)$ ※	0.5A、250V、 ガラス速断ヒューズ、 $\phi 5 \times 20mm$
4000 μ A	1 μ A		
40mA	0.01mA	$\pm(2.0\%rdg+5dgts)$ ※	
400mA	0.1mA		
4A	0.001A	$\pm(2.5\%rdg+5dgts)$ ※	10A、250V、ガラス速断 ヒューズ、 $\phi 5 \times 20mm$
10A	0.01A		

※正弦波測定値、測定周波数範囲：40Hz～400Hz

抵抗

レンジ	分解能	確 度	開回路電圧
400 Ω	0.1 Ω	$\pm(1.2\%rdg+2dgts)$	約0.45V
4k Ω	1 Ω	$\pm(1.0\%rdg+2dgts)$	
40k Ω	10 Ω		
400k Ω	100 Ω		
4M Ω	1k Ω	$\pm(1.2\%rdg+2dgts)$	
40M Ω	10k Ω	$\pm(1.5\%rdg+2dgts)$	

最大入力許容電圧：600Vpeak

導通チェック

レンジ	分解能	アラーム音鳴動	開回路電圧
400.0 Ω	0.1 Ω	約70 Ω 以下	約0.45V

最大入力許容電圧：600Vpeak

ダイオードチェック

レンジ	分解能	開回路電圧
ダイオード	1mV	約1.48V

最大入力許容電圧：600Vpeak

コンデンサ

レンジ	分解能	確 度
40nF	10pF	±(3.0%rdg+10dgts) 測定時 (REL Δ)モード
400nF	100pF	±(3.0%rdg+5dgts)
4μF	1nF	
40μF	10nF	
100μF	100nF	±(4.0%rdg+5dgts)

最大入力許容電圧：600Vpeak

周波数/デューティサイクル

レンジ	分解能	確 度	入力感度
10Hz～10MHz		±(0.1%rdg+3dgts)	1MHz以下 300mVrms 以上 1MHz以上 600mVrms 以上
0.1%～99.9%	0.01%		最大測定電圧：30V


最大入力許容電圧：600Vpeak

温度:(AD-5518Tのみ)

レンジ	分解能	確 度	
-40℃～1000℃	1℃	-40℃～0℃	±(3.0%rdg+7dgts)
		-0℃～400℃	±(1.0%rdg+3dgts)
		400℃～1000℃	±(2.0%rdg+10dgts)

過入力保護：0.5A、250V、ガラス速断ヒューズ、φ5×20mm

付属温度センサ測定温度範囲：-40℃～250℃

 **注意** +150℃を超える温度測定をすると、絶縁被覆が焦げる場合があります。極端に焦げる場合は、性能が低下する恐れがあります。

保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせていただきます。また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1. 誤ったご使用または取り扱いによる故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
4. 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 保証書のご提示がない場合。
6. 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
7. ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
8. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 (ダイハツ・ニッセイ池袋ビル5F)

TEL. 03-5391-6126 FAX. 03-5391-6129

保証書

このたびは、デジタルマルチメータをお買い上げいただきましてありがとうございます。この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、保証期間内に限り無償にて修理・調整をさせていただきます。

品名 デジタルマルチメータ

型名 AD-5518/AD-5518T

お客様

お名前

様

ご住所 □□□-□□□□

ご購入日

ご購入店（ご購入店名を必ずご記入ください。）

保証期間 ご購入日より1年間

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ** 

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14

（ダイハツ・ニッセイ池袋ビル5F）